

平成 21 年 8 月 7 日

東洋エンジニアリング株式会社

ロシア向け大粒尿素生産設備を受注

東洋エンジニアリング株式会社（取締役社長 山田 豊）は、伊藤忠商事株式会社（取締役社長 小林 栄三）と協力し、ロシア連邦のサラワットネフテオルグシンテズ社がサラワット市に建設を計画する日産 1,400 トンの大粒尿素生産設備をこのたび受注いたしました。当社の役務範囲はライセンス供与と基本設計及びテクニカルアドバイザーサービスで、プラントの完成は 2011 年を予定しています。当社は自社開発技術である尿素および大粒尿素製造技術の供与を通じて食糧問題の解決に貢献したいと考えております。

<受注概要>

- 客 先：ロシア連邦のサラワットネフテオルグシンテズ社（ガスプロムグループの石油精製・化学・石化分野子会社）
サラワットネフテオルグシンテズ社は、同国内化学肥料分野でのマーケットシェア拡大並びに国外への輸出拡大及び、環境負荷の軽減を目指し、これ以外にも数多くの近代化・新設投資を計画中。
- 受注者：東洋エンジニアリング株式会社
- 対象設備：日産 1,400 トンの大粒尿素生産設備
- 役務内容：ライセンス供与、基本設計、テクニカルアドバイザーサービス
- 建設地：ロシア連邦、バシコルトスタン共和国、サラワット市
- 適用技術：当社大粒尿素技術
- プラント完成予定：2011 年
- 受注の意義：
 - * 世界で 18 基の実績を持つ当社の省エネ大粒尿素技術のロシアでの初受注。
 - * サラワットネフテオルグシンテズ社が同時に計画している最先端の省エネ技術に基づいたプラントの近代化の一翼を担う。
 - * ガスプロムグループからの更なる受注。同グループでは、今後もガス高付加価値戦略に沿って下流である石化・ガス化学分野への投資が期待される。
 - * ソ連時代を含め 40 年間以上継続して 60 基以上のプラントを建設した当社の実績や、長年蓄積されたロシア設計基準などの豊富な地域ノウハウを活かし、ロシアにおける技術供与及び EPC 受注継続を目指した案件。

以上

<お問合せ先> 東洋エンジニアリング株式会社 広報・I R 室長・川腰 TEL:047-454-1113